

■コメント

第1週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

・インフルエンザは、学校が冬休みに入り報告数は少なくなっていますが、例年、学校が始まると急激に患者が増加するため、再び流行が拡大すると予測されます。

・インフルエンザの感染経路には飛沫感染と接触感染があります。飛沫感染とは、感染した人の咳やくしゃみの飛沫に含まれるウイルスを、他の人が吸い込むことによる感染です。接触感染とは、感染した人が咳やくしゃみ、鼻水などのついた手でドアノブなどに触れ、その場所を触った他の人が、さらにその手で口や鼻に触ることにより、ウイルスが体内に入る感染です。インフルエンザの感染予防には、これらの感染経路を断つことが重要です。流水・石けんによる手洗いは、インフルエンザウイルスを手から除去するために有効な方法であり、感染症対策の基本です。外出先からの帰宅時など、こまめに手を洗いましょう。(次頁参照)

感染症情報等の詳細は以下のホームページ(広島市感染症情報センター)を参照してください。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	232	9.28	6.53		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.59	
	咽頭結膜熱	2	0.13	0.31		眼科	RSウイルス感染症	2	0.13	0.51	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.75	1.16			急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	33	2.06	4.71		眼科	流行性角結膜炎	-	-	0.65	
	水痘	5	0.31	0.42		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	1	0.06	0.17			無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	1	0.06	0.44			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23	
	突発性発しん	3	0.19	0.12			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.14	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	25
小児科定点数	16
眼科定点数	3
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	1	1	女性(80歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタウ イルス) 感染性 胃腸炎
報告数	広島市	第49週	496	8	45	134	7	4	15	5	3	-	7	-	4	-	-	1	-	-
		第50週	748	17	42	153	9	11	13	8	1	2	7	-	5	-	-	-	-	-
		第51週	822	12	51	198	10	8	20	6	-	1	10	-	7	-	-	2	-	-
		第52週	792	12	50	178	11	7	18	8	2	1	7	-	3	-	-	1	-	-
		第1週	232	2	12	33	5	1	1	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
定点当 たり	広島市	第49週	13.41	0.33	1.88	5.58	0.29	0.17	0.63	0.21	0.13	-	0.29	-	0.50	-	-	0.14	-	-
		第50週	20.22	0.71	1.75	6.38	0.38	0.46	0.54	0.33	0.04	0.08	0.29	-	0.63	-	-	-	-	-
		第51週	22.22	0.50	2.13	8.25	0.42	0.33	0.83	0.25	-	0.04	0.42	-	0.88	-	-	0.29	-	-
		第52週	21.41	0.50	2.08	7.42	0.46	0.29	0.75	0.33	0.08	0.04	0.29	-	0.38	-	-	0.14	-	-
		第1週	9.28	0.13	0.75	2.06	0.31	0.06	0.06	0.19	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-
	全国	第51週	21.22	0.77	3.72	7.46	0.63	0.70	0.63	0.33	0.07	0.08	0.54	0.01	0.64	0.01	0.04	0.47	0.01	0.01
		第52週	23.24	0.78	3.28	7.25	0.62	0.57	0.58	0.34	0.07	0.06	0.56	0.02	0.61	0.04	0.03	0.36	0.01	0.02

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎 鼻炎	1	女	2019/11/25	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎	54	男	2019/11/26	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(41.0) 鼻炎	6	女	2019/12/01	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(40.3) 鼻炎	5	男	2019/12/03	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	24	女	2019/11/29	糞便	ノロウイルスGⅡ
突発性発しん	発熱(40.0) 紅斑	8	女	2019/11/29	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
ヘルパンギーナ	発熱(39.0) 紅斑	7	女	2019/11/26	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA10型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱 上気道炎	4	男	2019/11/29	鼻汁	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

●感染症予防のために手を洗いましょう●



1. 流水で汚れを簡単に洗い流します。



2. 石けんをつけて十分に泡立て、手のひらを合わせてよくこすりします。



3. 手の甲をよくこすります。



4. 両手を組むようにして指の間をよく洗います。



5. 指先や爪の間を手のひらの上でよくこすって洗います。



6. 親指を反対の手でねじるようにして洗います。



7. 手首も反対の手でねじるようにして洗います。



8. 流水で石けんと汚れを十分に洗い流します。



9. 最後に清潔な乾いたタオルかペーパータオルでしっかりとふきます。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2020年第1週(12月30日~1月5日)